



うるま市

自然景観や伝統文化など、島そのものを活かして人を癒すという発想が、島しょ地域の可能性を広げています。

沖縄型スパ構想
「沖縄らしい癒し」が提案できる場所を探して

うるま市島しょ地域の平安座島、宮城島、伊計島、浜比嘉島に残る自然や伝統文化、人々の暮らしをそのまま「癒しの素材」として活用し、地域振興を図ろうという「島すばプロジェクト」が動きはじめています。企画を提案したのは、スパ経営とスパの人材育成に取り組み株式会社パシフィック・ホスピタリティーグループ社長の佐藤健さん。「沖縄でしか体験できない癒しの提案と、それが実現できる場所を探していた」と語ります。

地域の理解
参加・協力したくなる事業へ

「まず取り組んだのは、各島の区長へ事業の想いを伝えること、地域の心をつなげることで」とコーディネーターの玉栄さん。佐藤さん「島すばプロジェクトは、自分たちが守り継承してきたものが島おこしに役立つことを知り、地域の人たちの誇りとなり、協働の意識は高まります。」



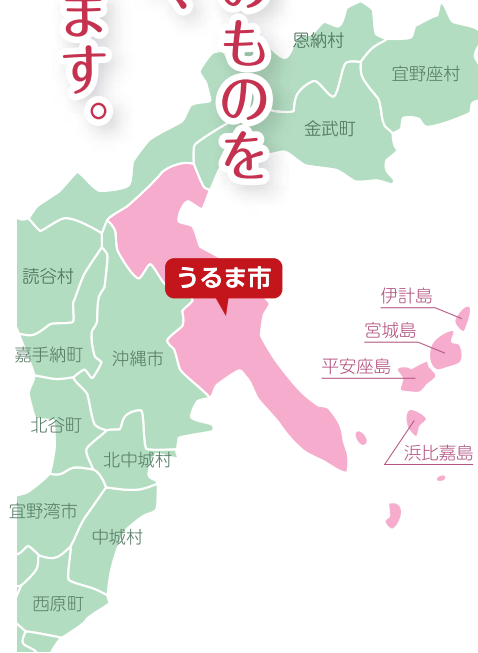
古民家「あば」家の中のトリートメントルーム。ゆるやかな島時間が流れる



「あやはしうりずんまつり」の様子。演舞に感動し、カメラを向ける中国富裕層の皆さん



島すば事業のコンセプトを具現化した古民家スパ「あば」家



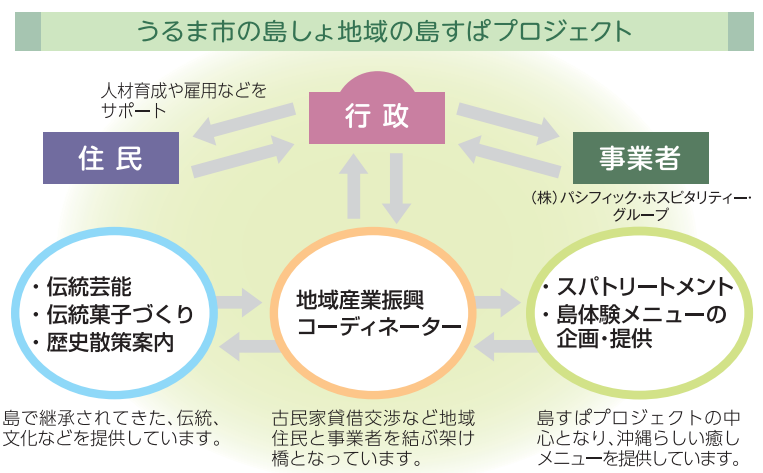
裕層モニターツアーの皆さんへ、伝統芸能の平安座島のウステーク、浜比嘉島の比嘉の伝統エイサー、天願の獅子舞などが披露され盛り上がりしました。また、島のまいさむんが地域婦人会の協力のもとに提供され、賑わいに一役買いました。



パシフィック・ホスピタリティーグループ社長の佐藤健さん



事業を支える皆さん。写真左から佐藤さん、玉栄さん、玉栄育子さん、島すばのスタッフの山城千恵子さん、山城さやかさん、羽二生紗奈さん、うるま市企業立地雇用推進課の知念秀樹さん、同課の金城さん



人材育成と雇用
島を盛り上げる

島すばプロジェクトは、沖縄県環金武湾地域雇用創造協議会の「環金武湾就活あじまあプロジェクト」や県の緊急雇用創出事業などを活用し、スパ人材の育成と雇用も推進してきました。

「今後も人材育成と雇用は課題の一つ。地元の若い人材を確保・育成し、アジアや世界を視野に入れた観光サービスをめざしたい」と佐藤さん。同市企業立地雇用推進課の金城和明さんは、「今年度の施政方針の中に、島すばの可能性に寄せる想いが盛り込まれるなど、同プロジェクトへの期待は高まっている」と語ります。



島すば事業と地域の人たちの橋渡し役の玉栄章宏さん

「島すばは、島おこしを支える『島のこころ』につながらね。」

「島すばは、島おこしを支える『島のこころ』につながらね。」

「島すばは、島おこしを支える『島のこころ』につながらね。」

編集後記

夏は沖縄を多くの観光客の方が訪れ、街が賑わう季節です。私も東京から観光に来た友人をあちこち案内して回りましたが、彼らが沖縄に求めているものに、「癒し」があることを強く感じます。16ページで取り上げている「島すばプロジェクト」のような新しい観光メニューを紹介していきたいです。(kai)

東日本大震災から半年が過ぎようとしています。今回の震災で、日頃の防災に対する意識がいかに大切かということを感じました。県の動き2のページで、「防災」について特集しています。いつ起きるかわからない災害に対して、少しでも皆様の防災意識が高まればと思いますので、是非ご覧になってください。(tama)

平成23年9月1日発行 第35巻9号通巻432号
沖縄県広報誌 **美ら島沖縄**
企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020

アンケート
「美ら島沖縄」の感想をお聞かせください。
▶ パソコンはこちら [美ら島沖縄](#) 検索
▶ 携帯電話は、右のQRコードから

